

札幌市読書感想文コンクール

応募要項

趣旨 応募資格 応募区分

読書を通じて身近な生活を考え直し、思考を深めていく態度習慣を形成する。

札幌市内の小学校・中学校・高等学校に在学する児童・生徒（2004年4月2日以降出生の方）

- ①小学校低学年の部(1・2年生)
- ②小学校中学年の部(3・4年生)
- ③小学校高学年の部(5・6年生)
- ④中学校の部
- ⑤高等学校の部

※特別支援学校はそれぞれの対応する部に、中等教育学校および中高一貫校の「前期課程」は中学校の部に、「後期課程」は高等学校の部に応募してください。

対象図書

(1) 自由読書

自由に選んだ図書。フィクション、ノンフィクションを問いません。

※教科書、副読本、読書会用テキスト類またはこれに準ずるもの、雑誌（別冊付録を含む）、パンフレット類、日本語以外で書かれた図書および主催者の指定した図書は対象としません。

ただし、課題図書であっても該当の部以外であれば、自由読書として応募することができます。

(2) 課題読書

第70回青少年読書感想文全国コンクールにおいて指定された図書。同一部内における学年指定はありません。

(3) 指定読書

第50回北海道指定図書感想文コンクールにおいて指定された図書。同一部内における学年指定はありません。

字数用紙

- (1)小学校低学年の部(1～2年) 本文 800字以内
- (2)小学校中・高学年の部(3～6年)本文 1200字以内
- (3)中・高校の部 本文 2000字以内
- (4)題名は、1枚目の枠外に書き、校名・氏名などは、記入しないこと

*校名・氏名等は、必ず応募票に記入すること。
*句読点は、1字と数えます。改行のための空白か所も字数として数えます。
*使用する原稿用紙の種類などは問いません。読書感想文オリジナル原稿用紙（読書感想文コンクールホームページからダウンロード）も利用できます。

応募作品

- (1)用紙は折らずに右上を綴じ、応募票を1枚目の右上に留めること。
- (2)日本語で書かれたオリジナルの未発表作品で自筆原稿に限ります。
- (3)応募できる数は各類ごとに一人1点です。
- (4)応募作品は返却しません。なお入賞・入選作品の著作権、著作権は主催者に帰属します。

(5)一校あたりの応募点数

小学校 …… 各種別ごとに学年4点以内

中学校 …… 各種別ごとに学年8点以内

高等学校 …… 学年を問わず各種別ごとに12点以内

(6)作品は必ず学校内で選考し、一括してとりまとめて提出してください。

応募締切

令和5年9月6日（金）必着

応募先

札幌市立厚別中学校 佐々木 康平
厚別区厚別東3条5丁目 Tel 898-3257

審査

審査は、市内の読書指導実践の経験豊かな先生方に委嘱して行います。

入賞発表

審査終了後に当協議会事務局より文書をもって入賞者の学校に通知します。

表彰

- (1)学校賞 校種別に各1校
- (2)特別賞 札幌市長賞・市議会議長賞・市教育長賞・図書館協議会会長賞・市P連会長賞・協賛商社各賞など総計20名
- (3)優良賞 校種ごとに若干名
- (4)佳作賞 校種ごとに若干名
- (5)努力賞 選外の応募者全員

表彰式

令和6年11月10日（日）
場所 札幌市中央図書館 3階講堂
（中央区南22条西13丁目1-1）

その他

・応募の際は、各作品につける応募票の他、学校ごとの応募作品一覧表と応募作品集計表も忘れずにご提出ください。**なお、応募作品一覧表と応募作品集計表は、事務局での集約などに使用しますので、作品送付時に添付されていない場合、作品を受け付けません。**
※個人応募票、学校集計表、学校一覧表については札幌市学校図書館協会 HP よりダウンロードしてお使いください。

札幌市学校図書館協議会 HP :

<http://sla.gr.jp/~hokkaido-sla/sapporo/>

・「第70回青少年読書感想文全道コンクール」及び、「第70回青少年読書感想文全国コンクール」「第50回北海道指定図書読書感想文コンクール」は、本コンクールに応募した作品の中から厳選なる審査を経て、当協議会が責任をもって応募いたします。

主 催	札幌市学校図書館協議会
後 援	札幌市・札幌市議会・札幌市教育委員会・札幌市 P T A 協議会・北海道高等学校 P T A 連合会石狩支部